



警告 安全に関する使用上の注意

パネルコンピュータPL-5910シリーズ(以下PL)を安全に使用していただくために、以下の指示に従ってください。

電源ケーブルの取り付けは必ず電源が供給されていないことを確認して、取り付けてください。感電のおそれがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。

PLの本体カバーを開けるときは、必ず電源を切ってください。内部には高電圧部分があり危険です。

PLは改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。

装置の安全性にかかわるタッチスイッチをPL上に設けないでください。非常停止スイッチなどの安全性に関わるスイッチは、別系統のハードウェアスイッチを設けてください。

バックライトが切れると、画面が真っ暗になって表示が見えなくなりますが、バックライト消灯機能作動時と異なり、タッチスイッチの入力は有効なままです。操作者がバックライト消灯状態と間違えてタッチパネルを押した場合、不当なタッチパネル操作となる恐れがあります。不当な操作による人的・物的損害が生じる恐れのあるタッチスイッチをPL上に設けないでください。

バックライトが切れた場合は以下のような現象が発生します。

バックライト消灯スクリーンセーバーを設定していないのに画面の表示が消える

バックライト消灯スクリーンセーバーを設定していて画面の表示が消えた際に、一度タッチなどの入力を行っても表示が復帰しない

万一、異物(金属片、水、液体)が機器の内部に入った場合は、すぐにPLの電源を切り電源ケーブルを抜いて、販売店または当社までご連絡ください。

各ボードやインターフェイスの挿入および抜き取りは、必ず電源を切ってから行ってください。

可燃性ガスのあるところでは使用しないでください。爆発のおそれがあります。

PLは航空機器、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命の維持に関わる医療機器などの極めて高度な信頼性・安全性が求められる用途への使用を想定しておりません。これらの用途には使用できません。

PLを運送機器(列車、自動車、船舶等)、防災防犯装置、各種安全装置、生命の維持に関わらない医療機器などの、機能・精度において高い信頼性・安全性が求められる用途で使用する場合は、組み込まれるシステム機器全般として、冗長設計、誤動作防止設計等の安全設計を施す必要があります。

障害・重大な物的損害や生産停止の原因となり得る重要な警告装置としてPLを使用しないでください。

重要な警告表示および警報に関わる制御装置は独立し冗長性のあるハードウェアか、機械的インターロックによって構成してください。



注意 安全に関する使用上の注意

本製品を安全に使用していただくために、以下の指示に従ってください。

PLの表示部を強い力や堅い物質で押さえないでください。表示部が割れ危険です。シャープペンシルやドライバーのように先が鋭利なもので、タッチパネルを押さえないでください。破損のおそれがあります。

PLの周囲温度は仕様の範囲内で使用してください。範囲外で使用すると故障の原因となります。

PLの表面が汚れた場合は乾いた柔らかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、強くしぼってふき取ってください。シンナーや有機溶剤などでふかないでください。

PLを直射日光の当たる場所や、高温、粉塵、湿気もしくは振動の多いところで使用および保管しないでください。

温度変化が急激で結露するような場所での使用はお避けください。故障の原因となります。

PLの温度上昇を防ぐため、PLの通風孔をふさいだり熱がこもるような場所での使用は避けてください。

薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での使用および保管は避けてください。

ハードディスクユニットに記録された内容(データやソフトウェア)が失われた場合、いかなる原因によるものでも弊社ではそれら記録内容に関する保証の責任は負いかねます。重要なデータやソフトウェアについては、外部記憶装置へのバックアップなど、ユーザにおいて対策していただきますようお願いいたします。

PLの電源を切った後、ハードディスクの回転が完全に止まるまでは、電源を再投入しないでください(再投入まで約5秒必要です)。

ハードディスクの寿命を延ばすため、BIOSの[POWER MANAGEMENT SETUP]-[HDD Power Down]で非操作時にハードディスクの電源が切れるように設定してください。"5Min"を推奨します。(出荷時の設定は"5Min"です。)

Windows®2000をご使用の場合は、Windowsの[コントロールパネル]-[電源オプション]-[電源設定]で非操作時にハードディスクの電源が切れるように設定することができます。"5分後"を推奨します。

PL-5910 シリーズとは

PL-5910 シリーズとは以下の機種を指します。

シリーズ名	商品名	型式	電源入力タイプ	備考
PL-5910 シリーズ	PL-5910T	PL5910-T11	AC100V Type	-
		PL5910-T41-24V	DC24V Type	UL/c-UL/CSA認定 CEマーキング対応品
	PL-5911T	PL5911-T11	AC100V Type	-
		PL5911-T41-24V	DC24V Type	UL/c-UL/CSA認定 CEマーキング対応品

UL/c-UL 認定について

PL5910-T41-24V/PL5911-T41-24V は UL/c-UL 60950 部品認定品です (UL File No.E171486)。PL を組み込んだ機器を UL/c-UL 申請する際は、以下の事項にご注意ください。PL を組み込んだ機器は、PL との組み合わせの適合性が UL によって審査されなければなりません。

- ・ PL は以下の規格に部品として適合しています。

UL60950-1

電気式事務機器を含む情報技術機器の安全性に関する規格
(第3版 2001年12月1日)

CAN/CSA-C22.2 No.60950-1-03 (c-UL 認定)

電気式事務機器を含む情報技術機器の安全性に関する規格
(第3版 2001年12月1日)

PL5910-T41-24V (UL 登録型式:3382701-01)

PL5911-T41-24V (UL 登録型式:3382701-02)

<注意事項>

- ・ PL の背面部はエンクロージャとして認定されていません。PL は機器に組み込み、機器全体として規格に適合するエンクロージャを構成してください。
- ・ 室内専用機として使用してください。
- ・ 自然空冷の場合、PL は垂直なパネルに取り付けてください。また背面部周囲の空間は全方向に50mm以上開けてください。この条件が満たされていないと、PL の内部部品の温度上昇が UL 規格の要求を満たさなくなる可能性があります。
- ・ 電源を接続する際は、電流・電圧を考慮し、導体部の太さが0.75mm²以上のケーブルを使用してください。
- ・ PL を組み込んだ機器には、オペレータが容易に操作できる位置に PL の電源を切断できるスイッチなどを設けてください。スイッチには電流・電圧を考慮したものを使用してください。
- ・ バックアップ用電池を誤って交換すると、爆発する危険性があります。製造者の指定する製品か、それと同じタイプの製品と交換してください。使用後の電池を破棄する際は、製造者の指示に従ってください。

CE マーキングについて

PL5910-T41-24V/PL5911-T41-24V は CE マーキング認定品です。

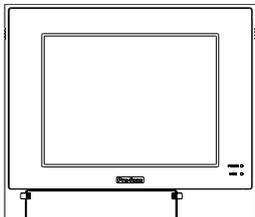
EMC EN55011(Group 1 Class A)および EN61000-6-2 に適応しています。

詳細については、(株)デジタル サポートダイヤルまでお問い合わせください。

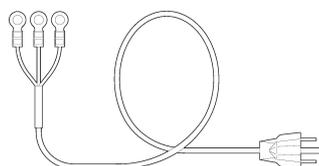
梱包内容

梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

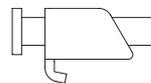
PL 本体
(PL-5910T/PL-5911T)



電源ケーブル
(PL5910-T11/PL5911-T11
のみ同梱)



取り付け金具 4個1組



重要

- ・ハードディスク内蔵タイプは、取り扱いに注意してください。
- ・電源ケーブルはAC100V/115V専用です。範囲外の電圧では使用しないでください。

防滴パッキン



取扱説明書(本書)

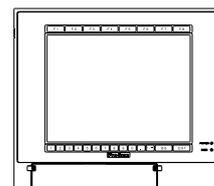
CD-ROM 1枚
(PL-5910 User Manual &
Driver CD)



ファンクションシール



ファンクションシールを
使用する場合は、下図のよ
うに貼ってください。



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

マニュアルについて

CD-ROM には以下のマニュアルの PDF ファイルが入っています。

- ・パネルコンピュータPL-5910シリーズユーザズマニュアル(pl5910j.pdf)
 - ・パネルコンピュータPL-5910シリーズAPIリファレンスマニュアル(5910apij.pdf)
- PDF ファイルを閲覧するには Acrobat³ Reader が必要です。

Acrobat³ Reader 6.0 のインストール方法

Acrobat³ Reader は CD-ROM 内の [Reader] フォルダに入っています。

Windows³ エクスプローラで [reader¥JPN¥ar60jpn.exe] ファイルをダブルクリックすると、ファイルが自動解凍されます。以降、画面に表示されるインストールの手順に従ってください。

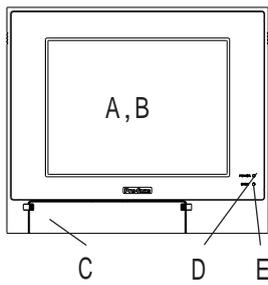
マニュアルの閲覧

マニュアルを閲覧するには、Windows³ エクスプローラで

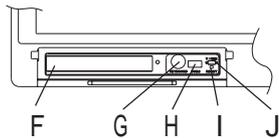
[manual¥JPN¥pl5910j.pdf] または [manual¥JPN¥5910apij.pdf] ファイルをダブルクリックし、PDF ファイルを開いてください。PDF ファイルが表示されます。以降、Acrobat³ Reader の操作方法については Acrobat³ Reader のヘルプをご覧ください。

1

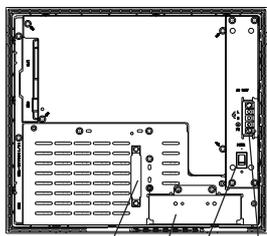
各部名称とその機能



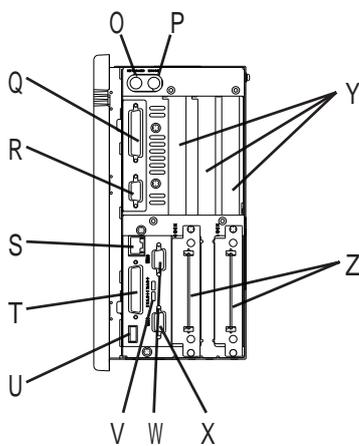
正面図



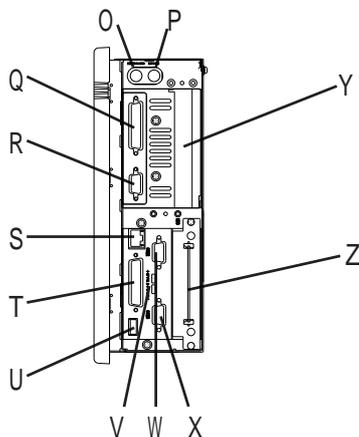
フロントメンテナンスハッチ内部



背面図



PL-5910T 側面図



PL-5911T 側面図

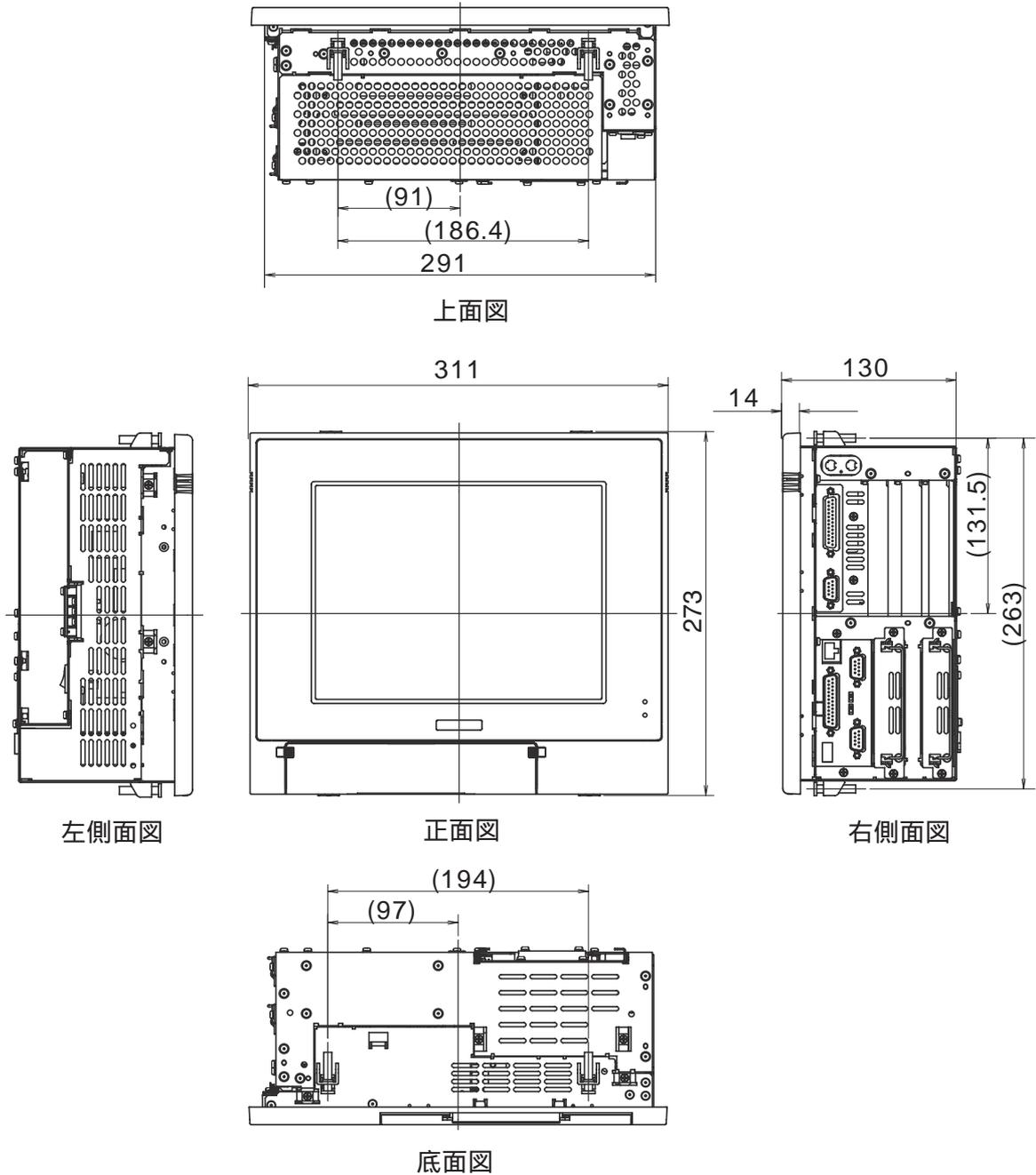
- A: 表示部
- B: タッチパネル
- C: フロントメンテナンスハッチ
- D: 電源LED (POWER)
- E: ハードディスクアクセスLED (DISK)
- F: FDD 前面ブランクパネル
- G: キーボードコネクタ (KEYBOARD)
- H: USB コネクタ (USB2)
- I: ハードウェアリセットスイッチ (RESET)
- J: タッチパネル I/F セレクトスイッチ (T MODE)
- K: IDE I/F カバー
- L: FDD 背面ブランクパネル
- M: 電源スイッチ (POWER)
- N: 電源入力用端子台
- O: キーボードコネクタ (KEYBOARD)
- P: マウスコネクタ (MOUSE)
- Q: プリンタコネクタ (LPT1)
- R: RS-232C コネクタ (COM1)
- S: イーサネットコネクタ (10/100BASE-TX)
- T: RAS コネクタ (RAS)
- U: USB コネクタ (USB1)
- V: 信号切り替えスライドスイッチ (+5VRI)
- W: RS-232C コネクタ (COM2)
- X: RS-232C コネクタ (COM3)
- Y: 拡張スロット
- Z: HDD/CF カードユニット拡張スロット

2 外觀図 (取付金具付き)

・ PL-5910T

単位:mm

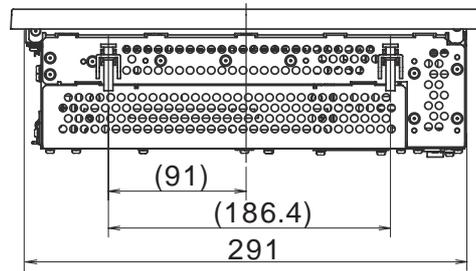
(突出部を除く)



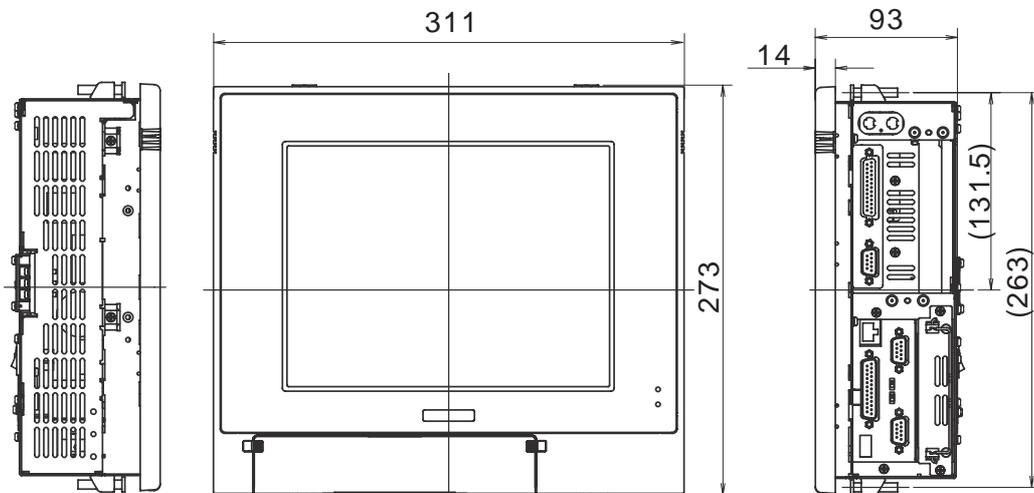
• PL-5911T

単位:mm

(突出部を除く)



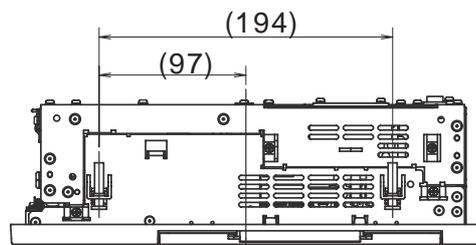
上面図



左側面図

正面図

右側面図



底面図

3 仕様

電氣的仕様

PL5910-T11/PL5911-T11

	PL5910-T11	PL5911-T11
定格電圧	AC100V	
電圧許容範囲	AC85 ~ 132V	
定格周波数	50/60Hz	
許容瞬時停電時間	1サイクル以内	
消費電力	150VA以下	110VA以下
絶縁耐力	AC1500V 20mA 1分間(充電部端子とFG端子間)	
絶縁抵抗	DC500Vで10M 以上(充電部端子とFG端子間)	

PL5910-T41-24V/PL5911-T41-24V

	PL5910-T41-24V	PL5911-T41-24V
定格電圧	DC24V	
電圧許容範囲	DC19.2 ~ 28.8V	
許容瞬時停電時間	10ms以内	
消費電力	100W以下	80W以下
電源突入電流	30A以下	
絶縁耐力	AC1000V 10mA 1分間(充電部端子とFG端子間)	
絶縁抵抗	DC500Vで10M 以上(充電部端子とFG端子間)	

環境仕様

使用周囲温度 (盤内と表示面側)	0 ~ 45 (HDD使用時5 ~ 45)
保存周囲温度	-10 ~ +60
使用周囲湿度	10 ~ 85%RH(結露しないこと、湿球温度29 以下)
保存周囲湿度	10 ~ 85%RH(結露しないこと、湿球温度29 以下)
じんあい	0.1mg/m ³ 以下(導電性じんあいのないこと)
汚染度	汚染度2
耐気圧(使用高度)	800 ~ 1114hPa(2000m以下)
耐振動	19.6m/s ² (10 ~ 25Hz X,Y,Z方向 各30分) <HDD使用時:4.9m/s ² > <FDD使用時:9.8m/s ² >
耐ノイズ性	ノイズ電圧:1500Vp-p パルス幅:50ns、500ns、1μs 立ち上がり時間:1ns (ノイズシミュレータによる)
耐静電気放電	接触:4kV(IEC61000-4-2 レベル2) 気中:8kV
ノイズイミュニティ (ファーストトランジェント・バーストノイズ)	電源ライン:2kV(IEC61000-4-4) COMポート:1kV(IEC61000-4-4)

重要

- ・ オプションを使用する場合は、オプション品の仕様値も併せてご確認ください。
 - ・ ハードディスクには、寿命があります。万一の故障も考え、定期的なデータのバックアップや交換用HDDユニットの用意をお勧めします。
 - ・ ハードディスクの寿命は使用条件や環境により前後しますが、目安として周囲温度 20℃、333時間/月（アクセス時間20%以下）で20,000時間（通電時間）または5年間のいずれか早い到達期限までです。
 - ・ ハードディスクを高温・高湿度の環境で使用すると、寿命を縮める原因となります。湿球温度 29℃以下での使用を推奨します。この条件は、例えば気温 35℃で湿度 64%RH、40℃で 44%RH 程度に相当します。
 - ・ ハードディスクの寿命を延ばすため、BIOSの[POWER MANAGEMENT SETUP]-[HDD Power Down]で非操作時にハードディスクの電源が切れるように設定してください。
" 5Min " を推奨します。(出荷時の設定は " 5Min " です。)
- Windows®2000 をご使用の場合は、Windows の[コントロールパネル]-[電源オプション]-[電源設定]で非操作時にハードディスクの電源が切れるように設定することができます。" 5分後 " を推奨します。

外觀仕様

	PL-5910T	PL-5911T
接地	保護接地:D種接地 ¹ 機能接地:D種接地	
構造 ²	保護構造: JEM1030 IP65f相当 形状: 一体型 取り付け方法: パネル埋め込み取り付け	
外形寸法	W311 × H271 × D130mm	W311 × H271 × D93mm
質量	約6.0kg	約5.5kg
冷却方式	自然空冷	

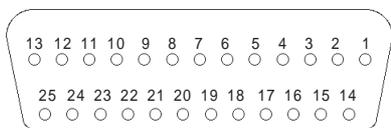
1 PL5910-T11/PL5911-T11(定格電圧:AC100V)のみ

2 本機をパネルに取り付けたときのフロント部分に関する保護構造です。当該試験条件で適合性を確認していますが、あらゆる環境での使用を保証しているものではありません。特に試験に規定されている油であっても、長時間にわたり噴霧状態で本機がさらされている場合や極端に粘度の低い切削油にさらされている場合などは、フロント部のシートのはがれにより油の浸入が発生することがあります。その場合は別途対策が必要となります。また、規定外の油でも同様の浸入やプラスチックが変質することがあります。本機を使用する前にあらかじめご使用の環境をご確認ください。また、長時間使用した防滴パッキンや一度パネル取り付けした防滴パッキンはキズや汚れが付き、十分な保護効果を得られない場合があります。安定した保護効果を得るためには、防滴パッキンの定期的な交換をお勧めします。

4 外部インターフェイス仕様

プリンタインタ - フェイス (LPT1)

Dsub 25 ピン (メス)



- ・ O.D: オープンドレイン
- ・ T.S: 3ステート入出力
- ・ TTL: TTL入力

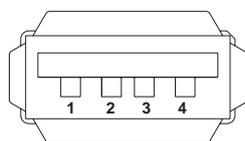
ネジの大きさは : (4-40) : インチタイプ

ピン番号	SPP/ECPモード 信号名	EPPモード 信号名	方向	電氣的 仕様	ピン 番号	SPP/ECPモード 信号名	EPPモード 信号名	方向	電氣的 仕様
1 ¹	STRB	WRITE	入出力	O.D/T.S	14 ¹	AUTOFD	DSTRB	入出力	O.D/T.S
2	DATA0	DATA0	入出力	O.D	15	ERROR	ERROR	入力	TTL
3	DATA1	DATA1	入出力	O.D	16 ¹	INIT	INIT	入出力	O.D/T.S
4	DATA2	DATA2	入出力	O.D	17 ¹	SLCTIN	ADSTRB	入出力	O.D/T.S
5	DATA3	DATA3	入出力	O.D	18	GND	GND		
6	DATA4	DATA4	入出力	O.D	19	GND	GND		
7	DATA5	DATA5	入出力	O.D	20	GND	GND		
8	DATA6	DATA6	入出力	O.D	21	GND	GND		
9	DATA7	DATA7	入出力	O.D	22	GND	GND		
10	ACKNLG	ACKNLG	入力	TTL	23	GND	GND		
11	BUSY	WAIT	入力	TTL	24	GND	GND		
12	PE	PE	入力	TTL	25	GND	GND		
13	SLCT	SLCT	入力	TTL					

- 1 プリンタインターフェイスの1ピン、14ピン、16ピン、17ピンの電氣的仕様は、SPPモードの場合「O.D」となり、ECP、およびEPPモードの場合「T.S」になります。

USB インターフェイス (USB)

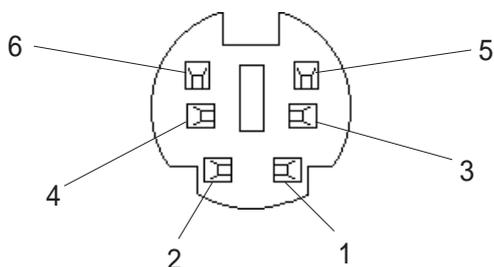
レセプタクル



ピン番号	信号名
1	Vcc
2	- Data
3	+ Data
4	GND

キ - ボ - ドインタ - フェイス (フロント / サイド共通)

ミニDIN 6ピン(メス)



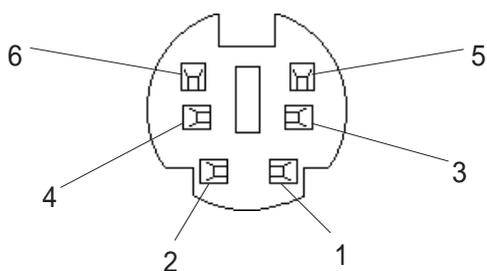
ピン番号	信号名
1	KEY DATA
2	NC
3	GND
4	+5V
5	KEY CLK
6	NC
SHIELD	GND

重要

- ・ ACPI 対応 107(英語) / 112(日本語) キーボードには非対応です。101, 104(英語) / 106, 109(日本語) キーボードをご使用ください。

マウスインタ - フェイス

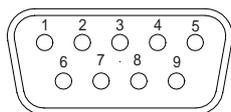
ミニDIN 6ピン(メス)



ピン番号	信号名
1	Mouse DATA
2	NC
3	GND
4	+5V
5	Mouse CLK
6	NC
SHIELD	GND

RS-232C インタ - フェイス (COM1 / COM2 / COM3)

Dsub 9ピン(オス)



ネジの大きさは : (4-40) : インチタイプ

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	CD	6	DSR
2	RXD	7	RTS
3	TXD	8	CTS
4	DTR	9	RI / +5V
5	GND		

重要

- ・ GND 端子は信号グラウンドです。接続相手の SG(信号グラウンド)端子と接続してください。

9ピンの「RI/+5V」はCOM2、COM3のみです。COM1は「RI」となります。

COM2、COM3のRI/+5Vの切り替えは本体側面のスライドスイッチにて行います。

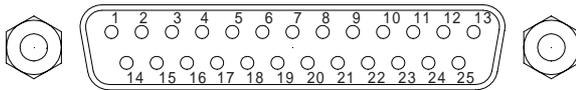
初期設定は「RI」です。参照 [パネルコンピュータ PL-5910 シリーズ ユーザーマニュアル](#) 2.3.4 RS-232C インターフェイス (COM1 / COM2 / COM3)

重要

- ・ 接続相手のインターフェイス仕様を確認の上、切り替えを行ってください。誤った設定を行うと故障、誤動作の原因となります。
- ・ 切り替えは必ずPL本体の電源を切った状態で行ってください。誤動作の原因となります。

RAS インタ - フェイス

Dsub25 ピン (オス)



インチネジ
#4-40UNC

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	GND	14	GND
2	+5V (最大100mA)	15	+5V
3	+12V (最大100mA)	16	NC
4	NC	17	NC
5	リセット入力(+)	18	NC
6	DINO(+)	19	NC
7	DOUT(-)	20	NC
8	DOUT(+)	21	ランプ出力(-)
9	アラーム出力(-)	22	ランプ出力(+)
10	アラーム出力(+)	23	NC
11	リセット入力(-)	24	DIN1(-)
12	DINO(-)	25	NC
13	DIN1(+)		

重要

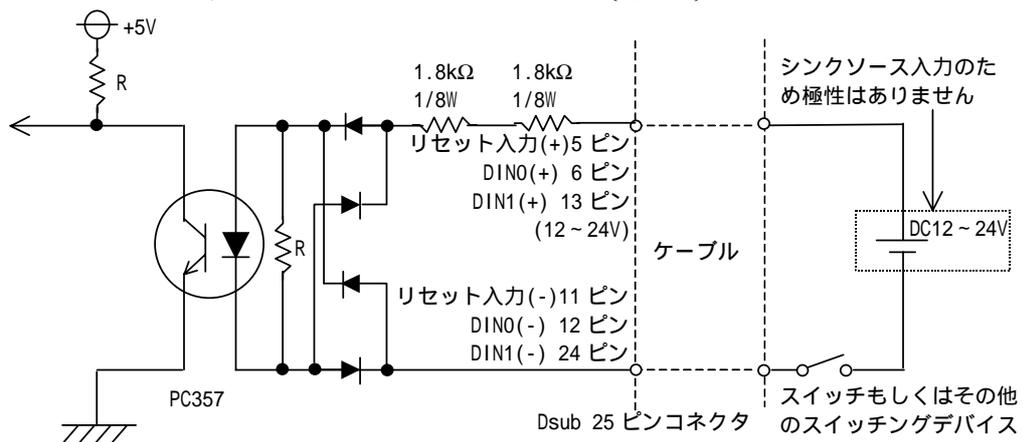
- ・ 2番(+5V)、3番(+12V)の外部電圧出力をご使用の場合は定格電流を守ってご使用ください。誤動作・故障の原因になります。

外部入力信号 (DIN、リモ - トリセット入力共通)

入力電圧	DC12V ~ 24V
入力電流	7mA
動作電圧	ON電圧:9V (min)、OFF電圧:3V (max)
絶縁方式	フォトカプラによる絶縁

(インターフェイス回路)

(接続例)

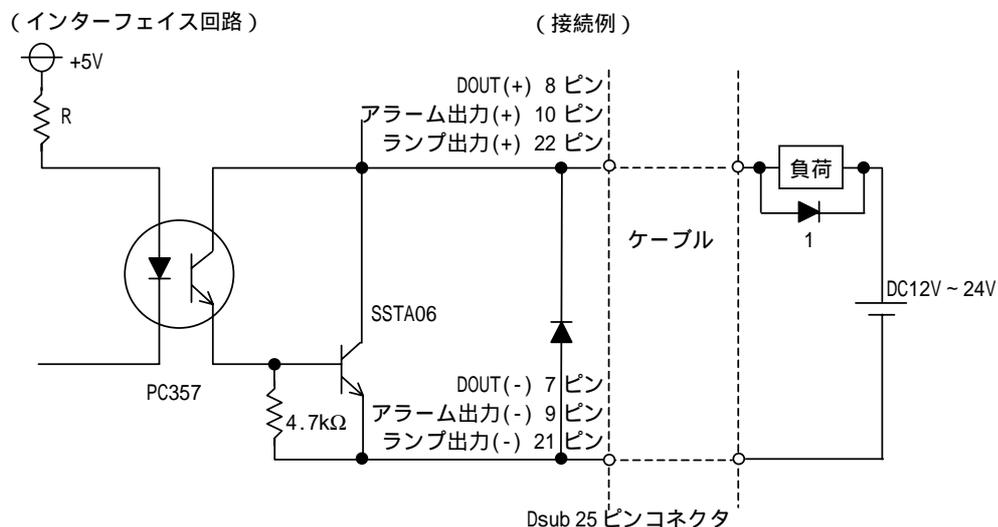


重要

- ・ 汎用信号入力(DIN)は、入力レベルを 1.5S 以上保持してください。1.5S 以下では検出できないことがあります。
- ・ 端子間の電圧値は、入力電圧で決められた範囲内で使用してください。入力電圧範囲を超えますと故障の原因となります。
- ・ シンクソース入力のため、D(-)、RESET(-)が正極、D(+)、RESET(+)が負極となっても問題ありません。この場合も、上記入力電圧範囲内で使用してください。

外部出力信号（DOUT、アラーム出力、ランプ出力共通）

定格負荷電圧	DC12V ~ 24V
最大負荷電流	100mA/点
端子間最大降下電圧	1.5V（負荷電流100mA時）
絶縁方式	フォトカプラによる絶縁



重要

- ・ 最大負荷電流内で使用してください。最大負荷電流を超えて使用すると故障の原因となります。
- ・ 負荷の電流値および電圧値は、端子間電圧を加味したうえで設計してください。負荷電流を大きくとりますと、端子間にて最大1.5Vの電圧降下が生じます。
- ・ 誘導性負荷を接続する場合は上図 1の保護用ダイオードを接続してください。

外部電源出力

- ・ +5V : 100mA (MAX)
- ・ +12V : 100mA (MAX)

5 取り付け

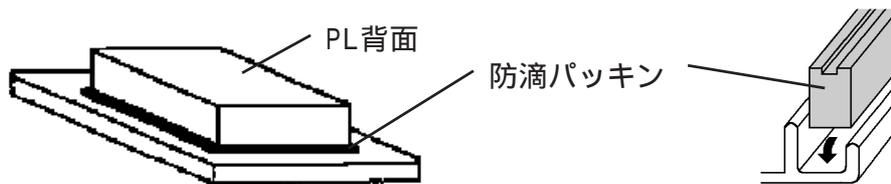
以下の方法で取り付けを行ってください。

防滴パッキンを取り付ける

防滴効果を必要としないような環境においても防滴パッキン(本体付属)は、必ず使用してください。PLの表示面を下にして水平なところに置き、付属の防滴パッキンを背面部から樹脂ベゼルの溝に取り付けます。

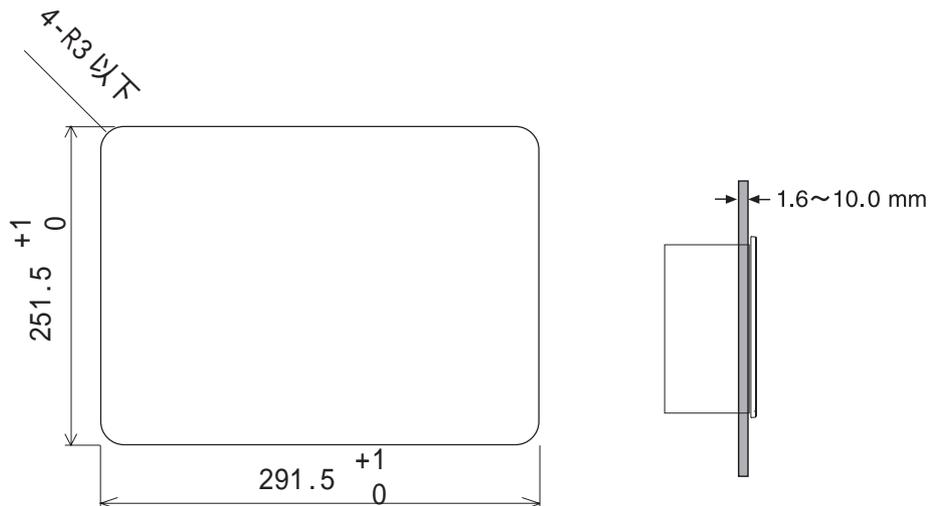
重要

- ・取り付けをする前に、パッキンがPLに装着されているか必ず確認してください。
- ・長期間使用した防滴パッキンや盤から取り外したPLを再度盤に取り付けるとIP65f相当の防滴効果を得られなくなります。安定した防塵・防滴効果を得るためには、防滴パッキンの定期的(年1回、またはキズや汚れが目立ってきた場合)な交換をお勧めします。
- ・適合する防滴パッキンの型式はPL-WS500です。
- ・PL本体の角部分に防滴パッキンの継ぎ目を挿入しないでください。挿入すると、継ぎ目に引っ張る力が加わり、防滴パッキンがちぎれる原因となります。
- ・安定した防塵・防滴効果を得るために、防滴パッキンの継ぎ目は、製品の下側にくるように取り付けてください。



取り付け穴をあける

取り付け穴図に従い、取り付け部分に加工を行います。取り付けには、防滴パッキン、取り付け金具が必要です。



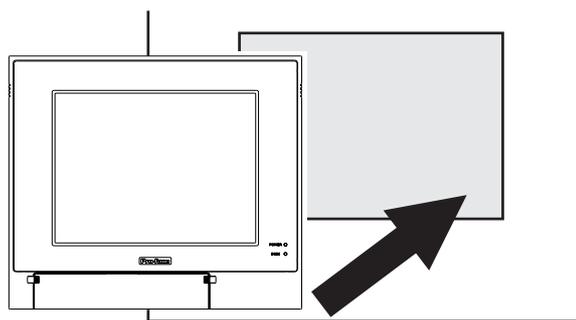
- ・防滴効果を得るため、取り付け部(パネル)には反りや傷、凹凸のない良好な平面を選んでください。反りを防止するためには補強板をつけることも有効です。

重要

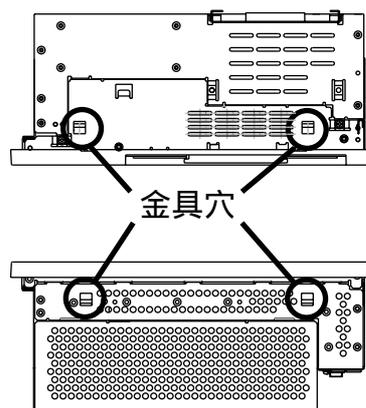
- ・パネル厚許容範囲は、1.6mm ~ 10.0mmです。パネル強度を考慮の上、パネル厚を決定してください。

取り付け

PLをパネル前面からはめ込みます。

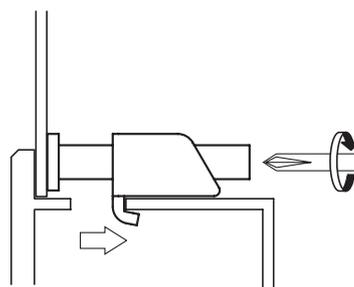


PL上下面4カ所にある金具穴に取り付け金具のフックを入れます。



取り付け金具を背面側へスライドさせます。

取り付け金具のネジを締めます。
4カ所のネジを対角に少しずつ
締めてください。



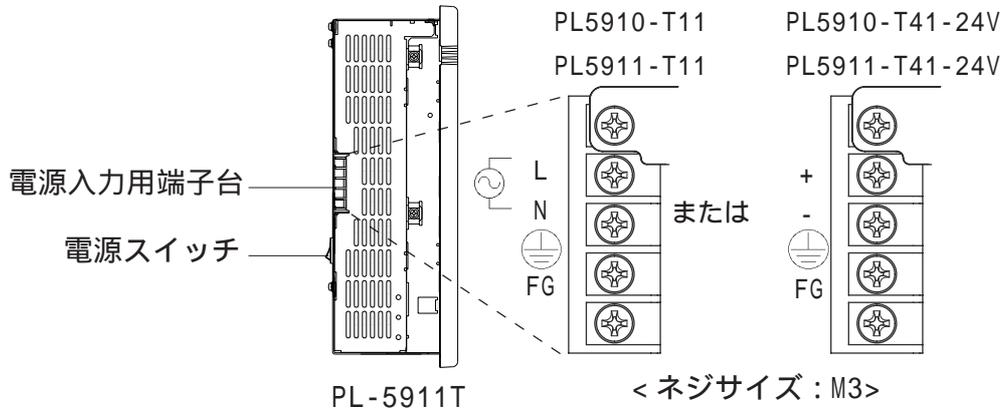
重要

- ・強く締めすぎると破損する恐れがあります。防水性確保のための適正締め付けトルクは0.5N・mです。

6 配線について

電源ケーブルは、PL 背面にある電源入力用端子台に接続します。

(PL 左側面)



	PL5910-T11/PL5911-T11
L	ライブ
N	ニュートラル
FG	フレームグランド

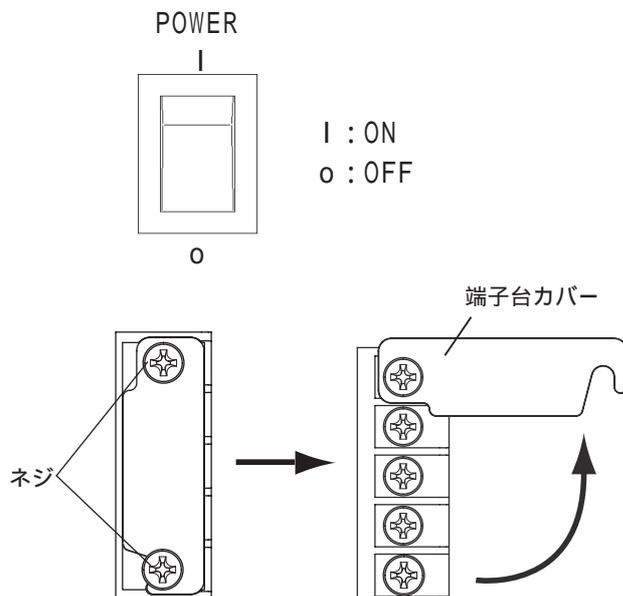
	PL5910-T41-24V/PL5911-T41-24V
+	正極
-	負極
FG	フレームグランド

電源ケーブルは、以下の手順に従って接続してください。

警告

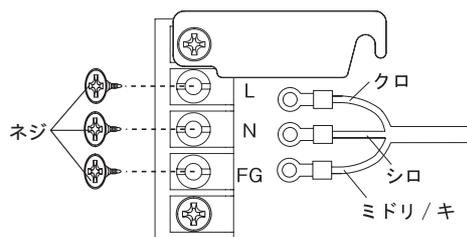
電源ケーブルの取り付けは、必ず電源が供給されていないことを確認して取り付けてください。感電のおそれがあります。

記載の電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、および破損のおそれがあります。



電源スイッチがOFFになっていることを確認した後、PLの背面にある電源入力端子台のネジ(2つ)を緩め、端子台カバーをスライドさせて開きます。

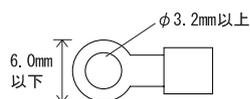
PL5910-T11/PL5911-T11 の場合



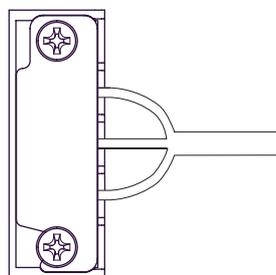
電源入力端子台中央の3カ所のネジを外し、圧着端子をネジ穴にあわせた後、ネジ止めします。



- ・使用圧着端子: V1.25-3 相当品
(日本圧着端子製造(株)製)
(JIS規格型番 RAV1.25-3)
- ・端子寸法は、以下の条件のものを使用してください。



- ・圧着端子ケーブルを確認のうえ、正しい位置に取り付けてください。締め付けトルクは0.5 ~ 0.6N・mです。

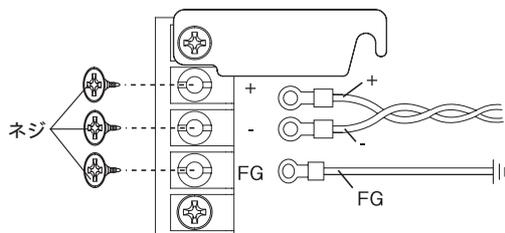


重要

- ・図のケーブル色は、付属のケーブルを使用した場合の色です。
- ・付属のケーブルはAC100V/115V専用です。他の電圧ではそれぞれの各規格に合ったケーブルを使用してください。

端子台カバーをスライドさせて閉じ、ネジ(2つ)を締めて固定します。

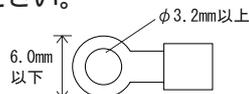
PL5910-T41-24V/PL5911-T41-24V の場合



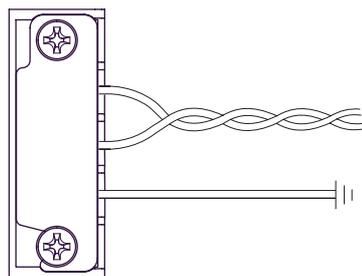
電源入力端子台の中央3カ所のネジを外し、圧着端子をネジ穴にあわせた後、ネジ止めします。



- ・使用圧着端子: V1.25-3 相当品
(日本圧着端子製造(株)製)
(JIS規格型番 RAV1.25-3)
- ・端子寸法は、以下の条件のものを使用してください。



- ・圧着端子ケーブルを確認のうえ、正しい位置に取り付けてください。締め付けトルクは0.5 ~ 0.6N・mです。



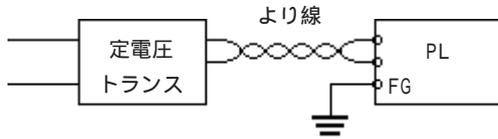
端子台カバーをスライドさせて閉じ、ネジ(2つ)を締めて固定します。

重要

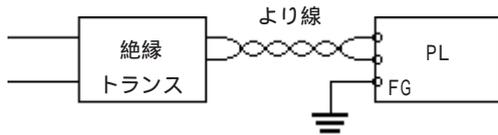
- ・電源ケーブルは必ず端子台に近いところからツイストしてください。

7 電源供給時の注意事項

電源供給時の注意事項です。下記の注意事項を守り、PL背面の電源入力用端子台に電源ケーブルを接続してください。



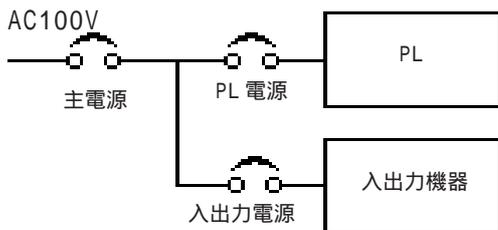
- 電圧変動が規定値以上の場合は、定電圧トランスを接続してください。



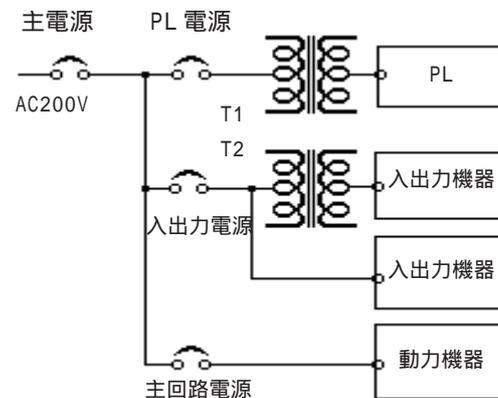
- 線間や大地間は、ノイズの少ない電源を使用してください。ノイズが多い場合は、絶縁トランス(ノイズカットトランス)を接続してください。



MEMO 定電圧トランス、絶縁トランスは、容量 200VA 以上のものを使用してください。

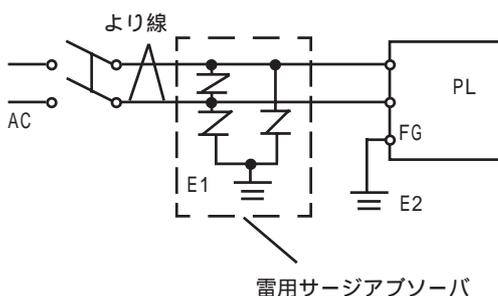


- PLの電源と入出力機器、および動力機器とは、系列を分離して配線してください。



- 耐ノイズ性を高めるために、電源ケーブルにフェライトコアを取り付けることをおすすめします。
- 主回路(高電圧、大電流)線、入出力信号線、電源ケーブルは、束線、近接をしないでください。

- 雷のサージ対策に、雷用サージアブソーバを接続してください。



重要

- 雷用サージアブソーバの接地(E1)とPLの接地(E2)とは分離して行ってください。
- 電源電圧最大上昇時でも、サージアブソーバの最大許容回路電圧を超えないような雷用サージアブソーバを選定してください。

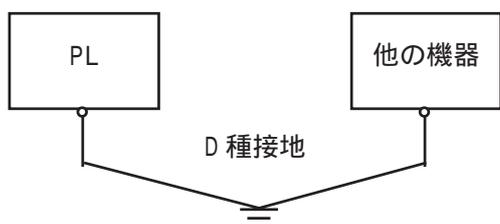
8 接地時の注意事項

(a) 専用接地 最良



- PL 背面にある FG 端子からの接地は、専用接地としてください。「図 (a) 接地工事は D 種接地、接地抵抗 100 Ω 以下」

(b) 共用接地 良

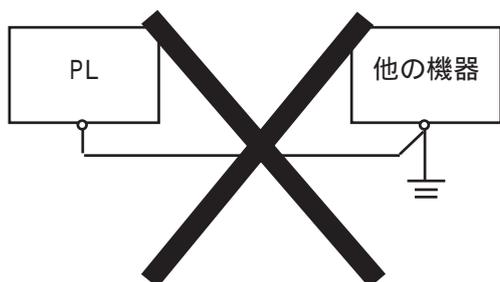


- 専用接地がとれないときは、図 (b) の、共用接地としてください。

- 2 mm² 以上の接地用電線を使用してください。

接地点は、PL の近くで接地線の距離を短くしてください。接地線が長くなる場合は、太い絶縁線を使用し、電線管を通して敷設してください。

(c) わたり接地 不可



9 入出力信号接続時の注意事項

- 入力信号線、および出力信号線は、動力回路のケ - ブルとは別の配線系統に布線をしてください。
- 動力回路ケ - ブルをどうしても別の配線系統にできないときは、シ - ルドケ - ブルを使用して、シ - ルド端を PL の FG に落としてください。
- 耐ノイズ性を高めるために、通信ケ - ブルにフェライトコアを取り付けることをおすすめします。

10 バックライトの交換について

本機は、バックライトの交換が可能です。
交換方法については、PL-5910シリーズユーザーズマニュアルまたは交換用バックライト（別売）に添付の説明書をご覧ください。

適合するバックライトの型式

PL	バックライト型式
PL- 5910T	GP577RT-BL00-MS
PL- 5911T	

- 重要** ・ 適合しないバックライトはご使用にならないでください。
事故や故障の原因となります。

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害およびその他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒 559-0031

大阪市住之江区南港東 8-2-52

TEL : (06) 6613-1101 (代)

FAX : (06) 6613-5888

URL : <http://www.proface.co.jp/>